

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 法医学分野

Department of Legal Medicine

— 人もヒトも健やかに —



分野紹介

法医学には色々な役割があります。
死体解剖を通じて犯罪立証に関わる面はよく知られています。これは犯罪を否定して冤罪を防ぐ役割でもありますから、「裁かれざるべき人は裁かれない」ことにも深く関わっています。また、大規模な災害や事故で多くの方々が亡くなられたとき、ご遺族が早く、また間違いなく身内のご遺体を引き取れるようにする活動もしています。



岡山大学法医学分野では、これらを「人」が社会的に健康であるための活動と位置付けています。

法医学では、高齢者の独居や介護を巡る死や、若い人々の予期せぬ突然死も対象としています。そのような解剖例の社会的背景、病的要因を明らかにすることは、死を予防する第一歩になります。

すなわち「死者に学び生者に活かす」取り組みも、法医学の重要な役割です。これは、生物個体として生きる「ヒト」が健康であるための活動と言えます。

法医学は死者に対峙する唯一の医学分野といっても過言ではありません。私たちが「人」としても「ヒト」としても生活してゆくために、死者は多くのことを語っています。

岡山大学法医学分野は、「人もヒトも健やかに」をスローガンとして、日々の活動を行っています。

現在の主な研究テーマ

法医情報の公衆衛生学的応用に関する研究
ミオグロビンの法医診断への応用
臨床検査の死後試料への応用に関する研究
乳幼児突然死に関する研究
法医解剖における腫瘍性疾患に関する研究
薬毒物の死後の体内動態に関する研究

連絡先／岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 法医学分野（宮石 智）

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

tel. 086-235-7201 fax.086-235-7201

E-mail: houigaku@md.okayama-u.ac.jp

URL: <https://okadai-legmed.sakura.ne.jp>